

造船技能の自己研鑽意欲を高める取組み

1. 議論のポイント

- 自己研鑽意欲を高める取組を、企業の枠を超えて発展させることで、企業や参加者の更なる意欲向上や相乗効果が期待できないか。
 - ・ 「技能コンクール」は、企業や地域で独自に行われているイベントもあるが、競技方法や採点基準などを共通化し、実施規模の拡大や融合化を図れないか。
 - ・ 「技能レベルを評価する取組」については、
 - －造船技能に特化したものを創設するニーズがあるか。
 - －学科試験・実技試験の運営体制や費用負担のあり方についても検討が必要。

2. 企業や地域で行われている取組事例調査の実施について（案）

- 業界団体を通じ、企業や地域で独自に実施している「技能コンクール」や「検定制度」について、アンケートを依頼する。

（アンケート項目の例）

- ・ 企業や地域の「技能コンクール」や「技能レベルを評価する制度」の名称
- ・ 実施している技能職種（例：溶接、ぎょう鉄、配管…）
- ・ 参加企業名（船用メーカー、協力会社等を含む）
- ・ 開始年度
- ・ 参加人数の推移（把握可能な範囲で）
- ・ 実施概要
 - 「技能コンクール」の場合：
 - 競技方法、評価基準、「技能検定」に相当する技能レベル 等
 - 「検定制度」の場合：
 - 学科・実技試験の過去問例、評価基準、「技能検定」に相当する技能レベル 等
- ・ 公的支援の有無（厚生労働省、地方自治体、中央職業能力開発協会（JAVADA）等）